

中国株ウィークリーレポート

2018/11/5

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	25,270.83	-109.91	-0.43	2.36	2.23	24,719.22
NASDAQ	7,356.99	-77.06	-1.04	2.65	6.57	6,903.39
日経225	22,243.66	556.01	2.56	5.00	-2.29	22,764.94
上海総合	2,676.48	70.24	2.70	2.99	-19.07	3,307.17
滬深300 (CSI300)	3,290.25	113.21	3.56	3.67	-18.37	4,030.86
ハンセン	26,486.35	1,070.35	4.21	7.16	-11.47	29,919.15
中国企業	10,687.77	408.45	3.97	6.25	-8.72	11,709.30

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は7.2%高と6週ぶり大幅反発、上海総合指数は3.0%高

香港市場ではハンセン指数が週間で7.2%高と6週ぶりに大幅反発。週間の上昇率としては15年4月以来の大きさとなった。トランプ米大統領と中国の習近平国家主席が1日に電話協議を行い、今月末開かれるG20首脳会議に合わせて会談するとの報道を受け、貿易交渉の進展を期待する買いが膨らんだ。本土市場では上海総合指数が週間で3.0%高と続伸。週初は景気の先行きへの警戒感から続落で始まったが、貿易摩擦解消に向けた協議の進展期待に加え、中国政府による株価対策や景気対策への期待が相場を支えた。

今週の展望: 香港市場は不安定な展開か、米中間選挙と貿易摩擦を巡る動きが焦点

香港市場は不安定な展開が見込まれる。米中間選挙と貿易摩擦を巡る動きが最大の焦点となるが、選挙後にはイベント通過による不透明感の払しょくで購入も入りやすい。民主党が勝利した場合にはトランプ大統領の独断に対する抑止となる点で中国にとってはプラスとなる。市場では貿易摩擦緩和への期待が高まっているが、米政権の動き次第で一喜一憂する展開もあり得る。本土市場も不安定な展開となりそうだが、下落局面では中国政府による株価対策や景気対策への期待が相場を支えそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	舜宇光学科技 (02382)	80.50	25.00
2	吉利汽車 (00175)	17.16	22.57
3	中国生物製薬 (01177)	8.19	19.74
4	瑞声科技 (02018)	67.10	19.40
5	テンセント (00700)	303.60	16.77
6	サンズ・チャイナ (01928)	35.20	15.79
7	碧桂園 (02007)	9.52	14.01
8	申洲国際集団 (02313)	94.30	13.75
9	銀河娛樂 (00027)	47.90	13.24
10	石業集團 (01093)	18.26	12.72

▼騰落率下位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	チャイ・コム (00762)	8.54	-2.18
2	恒安国際集団 (01044)	63.80	-1.85
3	中銀香港 (02388)	30.85	-1.59
4	Link REIT (00823)	72.30	-0.82
5	CNOOC (00883)	13.58	1.34
6	チャイ・モバイル (00941)	74.05	1.37
7	ハンセン銀行 (00011)	192.30	1.42
8	ホンコン・チャイガス (00003)	15.14	1.75
9	信和置業 (00083)	12.76	1.75
10	長江ソラ (01038)	58.90	1.99

▼今週の主なイベント

- 11月6日(火)
- 【米国】米中間選挙
- 11月8日(木)
- 【中国】貿易統計(10月)
- 11月9日(金)
- 【中国】CPI, PPI(10月)

▼今週の期待材料

- ◆1日に習近平国家主席とトランプ米大統領が電話協議、今月末開かれるG20での首脳会談開催に向け調整
- ◆6日に米中間選挙、結果にかかわらず選挙後にイベント通過による不透明感解消が買い材料になる可能性も
- ◆中国政府が株価対策や景気対策に本腰、習近平国家主席が民営企業の税負担軽減などに言及

▼今週の懸念材料

- ◆6日の米中間選挙で上院・下院とも共和党勝利ならトランプ大統領の対中強硬姿勢が続く公算
- ◆2日発表の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を上回る、米長期金利上昇で人民元に下落圧力
- ◆8日に中国の10月の貿易統計発表、予想以上に悪化していれば景気の先行き懸念が強まる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ UCルサール (00486) : 1-9月期決算は98%増益、7-9月期は91%増益
- ☆ 中国金茂 (00817) : 10月の不動産販売額が50%増加、販売面積は82%の大幅増
- ☆ 小米集団 (01810) : 18年のスマホ出荷台数が1億台を突破、通期目標を達成
- ☆ 碧桂園 (02007) : 1-10月の不動産販売額が35%増加、販売面積は26%増
- ☆ 万科企業 (02202) : 10月の不動産販売額が47%増加、販売面積は38%増と好調
- ◇ 香港証券取引所 (00388) : 7日に7-9月期決算を発表、市場予想は5%増益
- ★ 国美零售 (00493) : 1-9月期決算は赤字転落の見通し、売り上げ減少やコスト増響く
- ★ 瑞声科技 (02018) : 8日に7-9月期決算を発表、市場予想は3%減益
- ★ 富智康集団 (02038) : 18年12月本決算は赤字拡大の見通し、1-9月も赤字の見通し
- ★ 広州富力地産 (02777) : H株第三者割当増資計画を発表、増資後発行済み株式の20%

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。